

令和5年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■自主研究 18	公益目的事業 19
主査名	森本章倫 早稲田大学教授	
研究テーマ	メタバースの進展が都市に与える影響に関する研究	
研究の経過（4月～9月）： <p>本研究会では、近年急速に注目を集めている「メタバース」を研究対象として、今後のメタバースの進展が日常生活における行動変容や、外出率や購買行動の変化などを通して都市にどのような影響を与える可能性が高いかを検討することを目的としている。本研究会では、以下の3つの視点で分析や討議を行うことを想定して、上半期にこれまで2回の研究会を実施した。第1回目では、昨年度まで議論してきた新たな都市モデル（Smart Sharing City）のとりまとめについて報告を行った。その後、本研究で取り扱うメタバースの定義や現状での利用実態について情報共有を行い、主としてメタバースの利用が行動に与える影響について議論した。第2回目は仕事におけるメタバース利用の可能性について、国内外の事例を交えて報告があった。また、メタバースの体験施設の調査結果をもとに、VRタイプの分類や体験施設、導入時の課題などについて討議を行った。</p> <p>(1) メタバースの最新動向の整理</p> <p>国内外のメタバースの最新事例を収集し、スマートシティを含めた今後のサイバー空間のあり方に関する議論を整理する。</p> <p>(2) 都市連動型メタバースの事例整理</p> <p>バーチャル渋谷をはじめとする先進事例について調査分析を行い、現状の課題について討議を行う。</p> 下期へ向けて（課題等）： <p>下期に向けて、引き続き関連事例の収集と整理を行いつつ、アンケート調査をもとに下記（3）のテーマについて分析と討議をする予定である。</p> <p>(3) サイバー空間の利用拡大が日常生活に及ぼす影響の把握</p> <p>メタバースの利用増加が利用者にとってどのような行動変容を引き起こす可能性が高いかについて、アンケート調査などを基に明らかにする。</p>		